



# 村小だより

平成30年7月24日発行

確かな成長を願って ～地域でも、学校でも～

校長 鈴木 正美

本日、終業式を迎えましたが、子どもたちの成長を実感する1学期でした。特に1年生の姿は、入学当初とは別人のように村上小の立派な一員になったことを物語っています。併せて、卒業生からリーダーを引き継いだ6年生も意欲的かつ堂々と全校を導く姿を様々な場面で見せてくれました。また、2～5年生も上学年の注意を素直に聞き入れ、わがままを言わないで活動しようとしたり、下学年の面倒を見たり、とても立派でした。それぞれの学年の成長を頼もしく、心強く、かつ嬉しく感じ、全職員で喜んでいるところです。

この間、計画した村上小の教育を順調に進めることができました。それも保護者、地域の皆様からのご理解とご協力のおかげと、心から感謝申し上げます。

本日の終業式では、教育目標にかかわる「全校でがんばってほしいこと(3つ)」(4/13発行村小だよりに掲載)の評価について、次のような話をしました。

全校(265人)としての1学期の成績を発表します。今回は、学級担任の先生方(14人)から、自分の学級で「合格の子の人数、その内、とてもよくできる子の人数」を聞いて、それぞれの全校の人数を表しました。自分のことを振り返りながら、見ていてください。

○1つ目の「人のお世話にならぬよう」:「人に迷惑をかけず、自分が成長するために、何事にも進んで取り組む」は、235人が合格(100点満点で89点)、その内「とてもよくできる」は、115人。

○2つ目の「人のお世話をするよう」:「人を優しく思いやる気持ちをもって、何事にも助け合いながら取り組む」は、249人が合格(94点)、その内「とてもよくできる」は、130人。

○3つ目の「そして、むくいを求めぬよう」:「ご褒美がなくても、学級・学校・地域のために学んだことを生かして取り組む」は、247人が合格(93点)、その内「とてもよくできる」は、118人。

「合格までもう少し」の人もいますが、全体としては、合格ラインを突破した人がたくさんいて、とてもすばらしいと思います。

お祭りも事故なく終了しました。神輿行列や荒馬、屋台巡行等には、例年より多い173人の村小っ子がかかわったようです。自分の町内や参加した町内のために、それぞれの役割をしっかりと務め、素晴らしさを発揮していました。見物した子たちも、友達に手を振って声援を送る光景も見られ、嬉しく思いました。ご家庭や地域でのご指導、見守り等ありがとうございました。

また、昨日の「地蔵様」でも、各町内での「子どもの務め」に一生懸命取り組む村小っ子の姿を見ました。また、「地蔵様」への地域の方々の思いにも触れさせてもらい、嬉しい限りでした。

7月25日(水)～8月26日(日)まで、夏休みになりますが、子どもたちには「町内としてまとまる」「町内の役に立つ」体験等を積んでほしいと思っています。どうぞ、よろしく願います。